

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年04月01日

計画の名称	大島町における防災性の向上 第2期(防災・安全)												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和05年度 (4年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	大島町												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年台風第26号で発生した土砂災害によって被災した一帯において、道路、広場、緑地等の地区公共施設整備により、避難の円滑化、防風機能、遊水機能の確保を図り、地区の防災性向上を目的とする。 歩行者空間(堆積工、導流堤などの土砂災害対策や流路、メモリアル公園を連結)の確保など被災地一帯を土砂災害対策の学習と災害の教訓を伝える場として活用できるように整備し地域防災力の向上を図る。 海上からの風を防ぐ樹林帯の再生により、大島らしい自然と調和した景観形成を図る。 												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	410	A	410	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 令和2年度	中間目標値 令和4年度末	最終目標値 令和5年度末
1	避難路となる町道を総延長1720m整備することにより、津波や土石流等の災害時における流路沿い居住者158人の避難時間短縮が図れる。 対象エリア内の住民の平均避難時間 自宅 一時集合場所(津波時は各自で高台へ移動) 指定避難場所	6分	4分	4分
2	防災機能(一時集合場所等)を有した広場を整備することで、158人の流路沿い居住者が安全に元町地区指定避難場所に避難できる。 大金沢流域居住者における一時集合場所利用状況 整備前=各自で避難行動開始 整備後=元町橋下80名及び丸塚橋下78名が各ブロック班により避難可能	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
流域町道等整備事業として新設道4路線を整備する。最終目標年度 2箇所(広場整備及び水利施設等防災機能を併用した広場を目指している)								

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	大島町	直接	大島町	-	-	元町地区町道等整備(町道、広場等)	道路等整備(総延長1.720m)、広場等整備(面積350㎡)	大島町						410	-	
												小計						410	
											合計						410		